

# 事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅲ-4-5 環境保全の推進

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 廃棄物対策課長 近藤 一幸 電話番号 0852-22-6173

事務事業の名称	産業廃棄物処理施設の許可・監視・指導等事務	
目的	(1) 対象	県民
	(2) 意図	産業廃棄物処理施設の不適正な管理により、生活環境の保全上支障が生じないようにする
事業概要	産業廃棄物処理施設の設置に際して地域住民への不要な混乱を防止するために、設置予定者に対して、関係住民への設置計画の説明等を指導する。 要件に適合している者を許可するために、産業廃棄物処理施設の許可申請に対して、許可要件に合致しているか審査する。 産業廃棄物の適正処理を確認等するために、産業廃棄物処理施設に対し、立入検査（監視・指導）をする。 ・産業廃棄物最終処分場に係る重金属等有害物質及びダイオキシン類調査事業 ・焼却施設に対する重点指導の継続 など	

## 2. 成果参考指標

(1)	指標名	不適正処理の割合	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		36.00	35.00	34.00	33.00	
式・定義	改善等指導件数/立入件数		実績値	21.00	8.00	21.00	25.00		%
			達成率		177.80	140.00	126.50		%
指標名			年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	
式・定義			実績値	0.00	0.00	0.00			%
			達成率		0.00	0.00			%

## 3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	2,092	3,293
うち一般財源(千円)	19	411

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

各保健所において、細やかな指導に努めた結果、不適正処理の割合が増加した。

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

不適正処理の割合は増加したが、産廃施設に係る改善命令（法第15条の2の6）などの対象となるような重大案件の発生はなかった。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

なし

②困っている状況が発生している「原因」

なし

③原因を解消するための「課題」

なし

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

引き続き、計画的な立入検査を実施し、適正処理に係る必要な指導等をする。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

## 9. 追加評価（任意記載）